

## 第23回「あび北フォーラム」議事録

**開催日：** 2026（令和8）年2月22日（日） 13時30分～16時30分

**開催場所：** 市民プラザ ホール（あびこショッピングプラザ 3F）

**参加者：** 自治会等： 10自治会等14人

我孫子市役所：市民協働推進課1人

地域会議事務局：7人（自治会としての出席者1人を除く）

特別参加：我孫子市自主防災組織連絡協議会2人（合計24人）

### 配布資料：

- ①開催要領（事務局）
- ②スライド「自治会って何？（含：自治会アンケート2017と2025比較）」
- ③2025年7月の「あび北フォーラム自治会アンケート実施結果」

### 1. 開会挨拶（要旨）

#### ○事務局長：

今回のフォーラムの趣旨説明があり、「今回の意見交換が自治会活動の中で参考になれば」との期待が述べられた。

#### ○市民協働推進課：

『安全安心なまちづくりは、地域（自治会等）・まち協・市役所等の連携が重要であり、本日は、自治会活動の意義を再確認し、持続可能な自治会活動について一緒に勉強したい』との挨拶があった。

### 2. アンケート結果報告（令和7年7月実施）

事務局より、8年前の2017年に実施した同じアンケートの結果との対比で報告された。

自治会の現状と課題が、8年間で変化したもの・変わらないものの双方が明確になり、そのことから見えてくる点についての話があった。課題への対応事例もいくつか紹介された。

そして、持続可能な自治会活動にするために、「自治会って何？」を改めて考える必要性が示され、参考情報が提供された。

### 3. グループに分かれての情報・意見交換

2グループに分かれて、「自治会って何？」をテーマに討議した。

両グループとも、「自治会の担い手不足・業務過多・高齢化・イベント運営の負担・地域コミュニティ維持の難しさ」を中心に、各自治会が抱える課題と工夫を共有した。

今後は、これらの議論を踏まえ、地域の実情に合わせた持続可能な活動体制の構築が期待され

る。

※グループ別の詳細まとめは【別紙】に記載。

#### **4. 連絡事項**

次回開催日時の案内を事務局より行い、終了した。

**以上**

## 【別紙】

### A グループ 詳細まとめ

#### 1. 自治会の現状と課題

- シティア

役員は輪番制。より良い選出方法を模索。

- エールの丘

理事会と自治会が併存。役員は輪番制、副会長が次年度会長。

副会長立候補の理由は「近隣との交流を深めたい」。

- 妻子原

入居順に会長を担当。初心者が多く今後に不安。

並木連合会と連携。高齢化・空き家 1 割・独居老人増加が課題。

- 天子山

街路灯費用が市負担となり負担軽減。

住民構成やトラブル状況は大きな変化なし。

役員は歴代会長の子世代が担う傾向。

課題：空き家、独居老人の安否、高台立地による崖の老朽化。

- モアクレスト我孫子ヒルズ

役員は輪番制。高齢化により 75 歳以上も役員可に規約変更。

自治会活動が多忙（連休も全て自治会関連）。

おたすけ隊（電球交換・粗大ごみ対応）、災害対策チームあり。

子供会なし。「関わりたくないからマンション暮らし」という声も。

- つくし野南

会長が来年度も継続。各班から 1 名選出だがなり手不足。

高齢化進行。回覧の LINE 化を実施（紙併用・普及率 10%）。

- つくし野中央

900 世帯中 44 世帯が未加入。高齢化進行。

会長・副会長経験が長く住民把握が進む。

40 代を誘うなど役員増加に取り組み。

- 我孫子第十自治会（特別参加）

任期なし、300 世帯。自主防災組織あり。

回覧のデジタル化を検討。

## 2. 役員選出・体制に関する意見

- 多くが輪番制だが、**班ごとに候補者を選出**する方式もあり、突然の役員就任を防げる。
- 引き受け手不足により、**複数年継続**するケースもあるが、本人の意欲があれば継続可能。

## 3. デジタル化の状況と課題

- つくし野南が LINE 回覧を先行導入。  
継続には「簡便な運用方法の引継ぎ」が重要。
- 都自治会でも防災組織で LINE 活用が始まっている。
- 高齢者のデジタル対応が課題となる自治会も多い。

## 4. 回覧板の役割に関する意見

- 手渡しによる交流の価値が指摘される一方、実際はポスト投函が多く、顔のつながりは生まれにくい。
- 天子山では、回覧板のチェック状況が**見守り機能**として活用できるとの意見。

## 5. 全体としての傾向・共通課題

- 高齢化・独居増加・空き家問題が広く共通。
- 役員のなり手不足が深刻化し、輪番制の限界が見え始めている。
- デジタル化は進みつつあるが、普及率や継続性に課題。
- 地域コミュニケーションの希薄化が背景にあり、回覧板の扱いも揺れている。
- 一方で、防災組織やおたすけ隊など自主的な取り組みが活発な自治会もある。

# Bグループ 詳細まとめ

## 1. 自治会の現状と課題

- **つくし野南**  
300世帯を6組に分割。役員手当がないと継続が難しいとの声。(役員手当は少ないがある)

事務が多く軽減が必要。高齢者安否確認が主要テーマ。

- **パークシティ我孫子**

自治会活動は防災関係に絞っている。

災害時の子どもの預かりが課題。

- **妻子原**

役員手当なし。

高齢化で役員のなり手不足。会議時間短縮で負担軽減。寄付金集めが役員負担に。

- **エールの丘**

会議が多く毎週出席が必要。負荷状況の共有を希望。

- **グランレジデンス**

役員手当あり。

福祉・防災・美化・広報・経理など分科会多数。子供会が消滅。

分科会が多く自治会長・役員の負担が大きい。なり手不足。

- **シティア**

役員手当なし（理由：手当があると住民から要求が増えるため）

業務が多く1年任期で毎年入れ替わるため負担大。分科会の集約が必要。

- **つくし野北**

役員手当あり。

高齢化が進み業務軽減が急務。デジタル化が進まず回覧板の負荷が大きい。

## 2. 主な課題

### 2.1 役員不足・高齢化

- 後継者が見つからず、役員選定が困難。
- 高齢者の負担増、若年層は仕事・子育てで参加困難。
- 抽選で当たっても業務量に耐えられず辞退・不参加が発生。

### 2.2 業務量の多さ

- 回覧物処理、徴収、イベント、防災訓練、福祉活動など多岐にわたる。
- 文化会・イベント部会・防災部会など会議が多く、月に複数回の出席が必要。
- 夏祭り・文化祭など大規模イベントは準備回数が多く、役員負担が非常に大きい。
- マンションでは管理会社対応や自主防災会運営も加わり複雑化。

### 2.3 組織運営の課題

- 細分化された組織が維持できず、統合・集約が必要。
- 引き継ぎ資料が不十分で、過去のやり方が分からず混乱。

- デジタル化への期待はあるが、高齢者対応が課題。

### 3. 負担軽減に向けた取り組み・提案

- **業務の見直し**：回覧物の集約、徴収回数削減、募金の扱い見直し。
- **組織の集約**：類似部会を統合し、少人数で複数業務を担当。
- **デジタル化**：LINEでの連絡、回覧の電子化、オンライン会議の活用。
- **外部連携**：管理会社・社協・地域団体との協働で効率化。
- **合同イベント**：複数自治会で祭り等を共同開催し負担分散。

### 4. 地域活動の意義

- 「顔見知り」が防災・防犯・見守りの基盤。
- イベントは交流の場として重要だが、負担とのバランスが必要。
- 自治会の存在意義を住民に伝える広報が不足しており、理解促進が必要。

### 5. 住民参加を促す工夫

- サークル活動や高齢者向け交流会で自然な参加を促す。
- 子育て世帯向け企画で若い世代の関与を増やす。
- アンケートで住民ニーズを把握し、活動に反映。

### 6. 今後の方向性

自治会は、防災・防犯・見守り・交流といった地域基盤を支える重要な組織である。

今後は、**必要な活動に集中し、過去の慣習を見直し、負担を分散する運営体制**が求められる。

北地区フォーラムは、自治会間の情報共有と課題解決の場として継続的に活用されることが期待される。

以上